

〔遺伝資源の収集・評価・保存〕
夏まきキャベツにおける有望品種の選定

荒木俊光・海保富士男・野口 貴
(商品開発科)

【要 約】 収穫期が早く、揃い良く、外観からの新鮮感があり、初期の降霜でも傷みが少ない品種として「YR769」が有望であった。揃いは劣るが、形状が独特で食味の良い「トンガリボウシ」は直売で有望である。

【目 的】

都内のキャベツ栽培は作付面積約 300ha で、6 月、11 月は東京都中央卸売り市場でも占有率が高く重要な位置付けにある。主な生産地である練馬区、保谷市では市場出荷が多く、その他の地域でも市場出荷や直売で重要な品目となっている。本試験では、夏まき秋どりの作型でキャベツの有望品種を選定する。

【方 法】

供試品種は試行品種を含めて 12 品種である。播種は、2007 年 7 月 31 日に、発砲スチロール製 144 穴トレイに行った。培地はレディアースにマイクロロングトータル 70 日タイプを 5 g/ℓ混合したものを使用した。定植は、8 月 24 日に条間 60cm、株間 33cm (5,000 株/10a) で行った。元肥で N-P₂O₅-K₂O を各 15kg/10 a 施用し、追肥を 9 月 14 日に N-P₂O₅-K₂O=10-6-9 (kg/10 a) 施用して培土を行った。1 区は長さ約 4.5m の条を 3 条とし、2 連制で行った。収穫調査は、11 月 16 日に各区 10 株を行った。病虫害防除は、防除指針に従い適時行った。

【成果の概要】

- 1) 収穫期を遅い品種にあわせて行ったため、収穫期の早い品種では適期よりやや遅かった。最も球の揃いが良好なものは「YR769」で、次いで「しずはま 2 号、秋空」であった。収穫期の早いものは、「初恋、みくに、しずはま 2 号」で、秋が暖かかったため、例年より短い播種後 86 日で収穫適期となった。次いで「秋空、KA794、若者、YR 恋豊、YR769」で、これらも 90 日前後であった (表 1)。
- 2) 「トンガリボウシ」以外は、偏円球のキャベツで、最も平玉のものは「秋空」であった。結球の葉色は、「若者」がブルームのほとんどない艶のある鮮やかな淡緑色で、「YR769、しずはま 2 号」も鮮やかな淡緑色であった。収穫期の遅い寒玉系のものはブルームがあり色もやや濃いめの深緑であった。
- 3) 11 月の月上旬までは、平均気温で平年よりも 1℃以上高かったが、中旬より急に冷え込み 17 日に初霜となった。その後霜が続き、結球葉の表面が寒害を受け、11 月 26 日時点で寒害のなかったものは、「みくに、KA794、YR 恋豊、YR769、トンガリボウシ、藍宝 2 号」であり、結球表面にアントシアニンの着色がなかったものは「YR769」のみであった。
- 4) 以上の結果から、本作型で収穫期が早く、揃い良く、外観からの新鮮感があり、初期の降霜でも傷みが少ない品種として「YR769」が有望であった。また、揃いはやや劣るが、形状が独特で食味の良い「トンガリボウシ」は直売に向けた品種と考えられる。

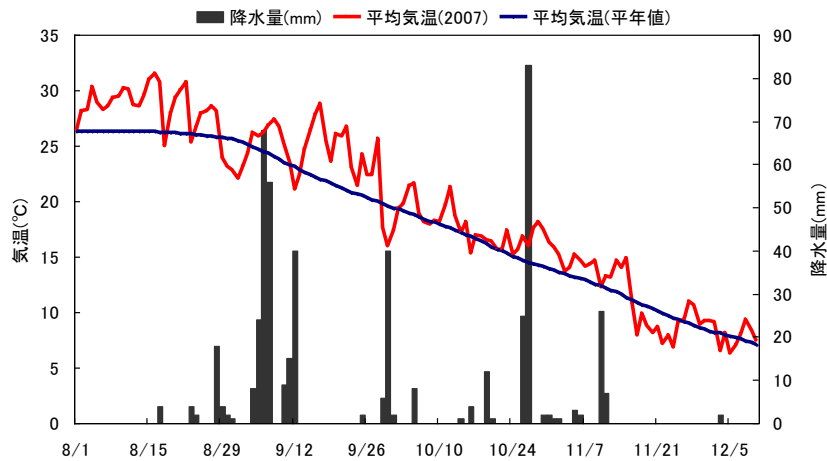


図1 2007年8～11月の気象状況

表1 夏まきキャベツの品種特性

品種名(種苗会社)	結球重		葉重 g	球高 cm	球径 cm	球高/球 径	外葉数 枚	最大葉縦 cm	最大葉横 cm	芯長 cm
	g	cv								
初恋(トーホク)	2458	14.6	852	13.1	23.7	0.55	12.1	36	34	7.7
みくに(カネコ)	2013	17.0	824	12.0	22.7	0.53	11.4	38	36	8.0
しずはま2号(石井)	2056	11.9	801	13.6	23.0	0.59	8.9	39	41	7.7
秋空(みかど協和)	1851	12.1	818	11.7	23.0	0.51	10.6	38	37	8.3
KA794(カネコ)	1943	18.2	804	13.0	22.7	0.57	9.5	39	41	9.8
若者(みかど協和)	2109	17.2	782	12.3	22.5	0.55	10.5	40	40	8.3
YR恋豊(雪印)	1982	16.2	801	13.4	23.1	0.58	11.5	36	34	8.8
YR769(増田)	2083	6.3	828	13.1	22.1	0.59	10.7	39	37	8.3
YR冬晴(雪印)	1925	15.2	963	13.2	24.2	0.55	11.3	40	37	8.8
トンガリボウシ(日本農林)	1793	21.1	986	18.5	18.3	1.01	9.1	38	40	6.7
藍宝2号(日本農林)	1983	17.9	730	12.9	22.1	0.58	11.2	40	38	9.3
YR藍宝(日本農林)	1884	16.9	941	13.4	21.3	0.63	11.3	38	37	8.8

品種名(種苗会社)	収穫開始期 ^a (L玉約8割)	球色	球のブルー ム	球の寒害の 程度 ^b	球のアントシ アニン着色	球形 ^c	食味 ^d
初恋(トーホク)	10月24日	緑	少	少	少	偏円	—
みくに(カネコ)	10月24日	緑	少	無	微	偏円	—
しずはま2号(石井)	10月24日	淡緑	微	少	少	角偏円	△
秋空(みかど協和)	10月27日	緑	少	少	少	角偏円	—
KA794(カネコ)	10月29日	緑	少	無	微	偏円	○
若者(みかど協和)	10月30日	淡緑	微	少	少	偏円	△
YR恋豊(雪印)	10月30日	やや濃緑	中	無	少	偏円	—
YR769(増田)	10月30日	淡緑	少	無	無	偏円	—
YR冬晴(雪印)	11月2日	緑	少	少	微	偏円	△
トンガリボウシ(日本農林)	11月2日	緑	中	無	微	尖り球	◎
藍宝2号(日本農林)	11月8日	緑	中	無	少	偏円	—
YR藍宝(日本農林)	11月8日	やや濃緑	中	微	微	甲高偏円	○

* 数値は10株の平均

a) 収穫開始期は目測による

b) 寒害およびアントシアニンの着色は11月26日時点による(11月17日より降雪)

c) 偏円は扁平な球のこと、角偏円はやや角ばった扁平球のことを示している

d) 食味は18人のアンケート調査による(一の品種は食味アンケートに供していない)